

# BIM/CIM 管理技士 資格認定試験

## 2024 年度版 受験の手引き

(2024 年度 : 2024 年 9 月 1 日～2025 年 8 月 31 日)

※ 当法人の事業年度は、毎年 9 月 1 日から翌年 8 月 31 日までとなっております。

試験科目	BIM/CIM 管理技士 資格認定試験 2024 年度版
申込受付期間	2025 年 3 月 24 日 (月) ～ <b>5 月 16 日 (金)【必着】</b>
試験日	<b>2025 年 7 月 6 日 (日) 14:00～15:30</b>
試験内容	多肢選択式、全 50 問
試験方式	CBT 方式 (Computer Based Testing)
試験会場	全国約 300 会場

### はじめに

土木と情報技術が社会や環境に重大な影響を与えることを十分に認識し、品位と名誉を重んじ、技術の研鑽に励み、国際的な視野に立って、公正・誠実に行動し、持続可能な社会の実現に貢献する為に、BIM/CIM 管理技士として資格認定を行う為の試験を執り行います。

本手引きは、BIM/CIM 管理技士資格認定試験のお申込みをするため、必要な受験資格、手続、申込書類等の作成要領、及び試験要領等についてまとめました。

受験をお申込みされる方は、本手引きを熟読いただき、試験のお申込みをいただきます様お願い申し上げます。

## 目次

1. BIM/CIM 管理技士資格資格認定試験の実施内容について	4
1-1. 「CBT 方式（Computer Based Testing）」にて実施します。	4
1-2. 「受験申込み～登録証送付」までの流れ、及び時期について	5
2. 受験資格について	6
2-1. 受験資格区分一覧	6
2-2. 受験資格区分一覧表（表-3）に関する補足説明について	7
2-3. 土木技術関係業務（表-4）における実務経験について	8
(1) 実務経験の計算について	8
(2) 実務経験が重複する場合の考え方について（図-6 の場合）	8
3. 実務経験の証明について	8
3-1. 証明者についての注意事項	8
3-2. 証明者についての説明事項	8
4. 提出書類について	9
4-1. 受験資格区分に係わらず提出が必要な証明書類【共通】	9
(1) 住民票抄本：住民票抄本のコピーや運転免許証のコピーは不可です。	9
(2) 誓約書：住所・氏名は登録申請者ご本人が署名（自署）してください。記名（ゴム印等）は認められません。	9
(3) 証明用写真（パスポート用）：	9
(4) 振替払込請求書兼受領書：	10
4-2. それぞれの受験資格に応じて提出が必要な証明書類	10
(1) 卒業証明書（卒業証書ではありません。コピーは不可です）	10
(2) 専門資格を取得した事を証する書類（写し）	10
5. 受験申込受付期間、及び申込方法について	10
6. 受験料について	11
7. 試験の日時、及び内容について	11
(1) 試験日：2025年7月6日（日）	11
(2) 試験会場：受験申請者により、2025年6月6日17:00時点において選択した試験会場	11
(3) 試験時間：	11
(4) 試験内容：	11
(5) 合格基準：	11
(6) 合格者の通知：	11
8. 試験会場について	12
8-1. 問い合わせ先について	12
8-2. 「受験の申込み～登録証の発行」までの流れ、及び問い合わせ先について	12
8-3. 試験会場（テストセンター）の選択に伴う流れについて（表7の補足）	13
9. 推奨テキスト本について	13
10. 受験票の送付について	14
11. 受験に際しての注意点	14
(1) 試験当日に必要なもの：以下①②いずれも持参ください。不備の場合は受験する事が出来ません。	14
(2) 試験会場における注意点	14
(3) 不正行為に対する受験禁止措置について	15
12. 受験料の返還、受験申請者のキャンセルについて	15
12-1. 受験料の返還に関する原則について	15
12-2. 受験料の返還に関する取扱いについて	15

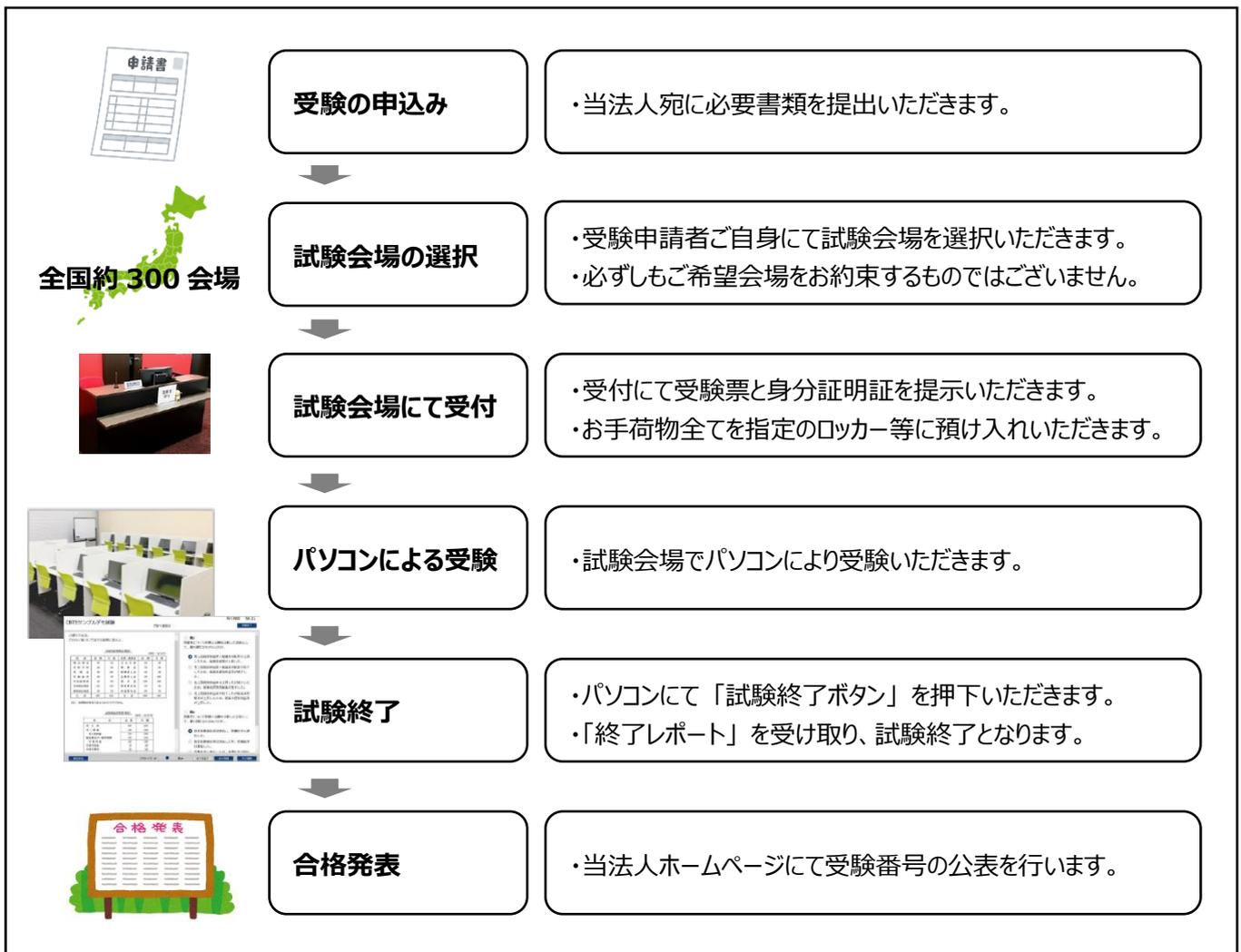
(1) 受験料の返還を行わない場合の具体例 .....	15
(2) 受験料の全額返還を行う場合の具体例 .....	16
(3) 受験料の全額返還又は受付期間延長等の合理的措置を行う場合 .....	16
(4) 全国の試験会場が満席のため受験できない場合の取扱い .....	16
(5) 公共交通機関の著しい遅延により受験できない場合の取扱い .....	17
<b>12-3. 受験申請者の変更、又はキャンセルについて .....</b>	<b>17</b>
<b>13. (参考) BIM/CIM 管理技士資格の登録証について .....</b>	<b>17</b>
<b>14. (参考) CBTS 試験会場について .....</b>	<b>18</b>
<b>15. 「BIM/CIM 管理技士資格認定試験」本申請書類の記入例 .....</b>	<b>19</b>
(1) 証明用写真の貼付箇所 .....	19
(2) 受験申請者情報における注意点【重要】 .....	19
(3) 2-1. 受験資格区分ごとの記入例 .....	20
(4) 本申込書類（受験願書等）提出用の封筒について .....	22
(5) 訂正する際、訂正印を利用する場合について .....	22
(6) 証明書類の貼付欄について .....	23
(7) 誓約書の印刷方法について .....	24
<b>16. よくある質問（Q&amp;A）について .....</b>	<b>25</b>
<b>16-1. よくある質問（Q&amp;A） .....</b>	<b>25</b>
<b>17. CBTS「受験者ご利用規約」より以下転記（2024年2月1日時点、抜粋） .....</b>	<b>26</b>
国土交通省登録資格（公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格）について .....	31
公益財団法人 日本建設情報技術センターのプライバシーポリシー（個人情報利用目的） .....	31

# 1. BIM/CIM 管理技士資格認定試験の実施内容について

## 1-1. 「CBT 方式（Computer Based Testing）」にて実施します。

CBT 試験の運営会社様のご協力により、全国各地の試験会場にてパソコンによる試験方式にて実施します。

<図-1> CBT 方式の概要



## 1-2. 「受験申込み～登録証送付」までの流れ、及び時期について

＜表-2＞ 「申込み～資格登録」までの流れ

NO	項目	内容	予定
1	仮申込受付	ホームページにて案内します。	2025/03/24(月)～05/16(金)  【本申込（願書提出）の締め切り】 ・書類全てに不備がない事が条件で、 2025年5月16(金)必着迄
2	<b>仮申込申請</b>	ホームページから、受験申請者自らのご自身の情報のみを申請してください。	
3	仮申込受付メール	「bimcim-info@jcitc.or.jp」から自動返信メールが送信されます。	
4	受験料払い込み	郵便局で受験料をお支払ください。	
5	<b>本申込（願書提出）</b>	返信メールから「受験願書」を印刷、記入のうえ必要書類をご提出ください。	
6	テキスト本購入（任意）	受験申請者ご自身にて、(株)建設物価サービス販売部にて手配ください。	本申込書類到着後、申込書類を審査のうえ、3週間程度以内
7	試験会場案内	試験会場関連メールが送信されます。	
8	マイページ開設	試験会場を選択する為、マイページにログインいただきます。	2025/04/01～06/06(金)17:00 ・締め切り超過の場合は受験できません。 ・全国全ての試験会場が満席の場合は受験できません。
9	<b>試験会場の選択</b>	マイページから、受験申請者自身にてご希望の試験会場を選択ください。	
10	受験票送付	受験票 PDF のメールが送信されます。	2025/06/09(月)～06/20(金)
11	受験	各試験会場にて受験してください。 ・受験票、身分証明書が必須です。	2025/07/06(日)
12	合格発表	ホームページにて受験番号の公表。	2025/07/28(月)頃
13	合否通知書送付	合否通知書に加え、登録申請書を発送します。	2025/07/29(火)頃～08/01(金)頃
14	登録申請書受付	登録を希望する場合は、登録料をお支払いのうえ、申請ください。	2025/08/04(月)～08/29(金)頃
15	登録料払い込み		【締め切り】書類全てに不備がない事が条件で、2025年8月29(金)頃必着迄
16	登録者発表	ホームページにて氏名を公表します。	2025/09/19(金)頃
17	登録証送付	内容精査のうえ、発送します。	2025/09/24(水)～10/31(金)頃
18	資格有効期間	2025/07/06(日)実施の試験	2025/09/01～2029/08/31

## 2. 受験資格について

### 2-1. 受験資格区分一覧

<表-3> 受験資格区分一覧表（受験資格区分の1～3の何れかにて受験できます。）

区分	学歴	実務経験	専門資格
1	不問	土木技術関係業務（表-4）に 3年以上の実務経験済み	不問
2	学校教育法（表-4）による大 学、短期大学、高等専門学校、 工業高等学校にて指定学科 （表-5）を就学後に卒業	土木技術関係業務に2年以上の実 務経験済み	不問
3	不問	不問	専門資格など（表-4）

■ **注意** ■ 以下の内容を含む注意事項を確認する為、別途誓約書を提出いただきます。

【誓約書（一部抜粋）】

- ① 次の欠格事項のいずれにも該当しないこと
  - ・ 心身の故障により業務を適切に行うことができない場合
  - ・ 禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から起算して2年を経過しない場合
  - ・ 公務員で、懲戒免職の処分を受け、その処分を受けた日から起算して2年を経過しない場合
- ② 現在又は将来にわたり、反社会的勢力に該当しないこと
- ③ 現在又は将来にわたり、反社会的勢力と密接な交友関係にある者と関係を有さないこと
- ④ CBT方式による認定試験の受験に際して、株式会社シー・ビー・ティ・ソリューションズ（以下「CBTS」という。）が定める「[受験者ご利用規約](#)（本手引き [NO.17](#)）」に同意し、当該利用規約を遵守すること
- ⑤ 当法人、CBTS 及び試験会場において試験監督を担う者に対して次の行為をしないこと
  - ・ 脅迫的な言動又は暴力を用いる行為
  - ・ 暴力的な要求行為又は法的な責任を超えた不当な要求行為
  - ・ 虚偽の風説を流布し、又は偽計を用いて信用を棄損する行為
  - ・ 偽計又は威力を用いて業務を妨害する行為

## 2-2. 受験資格区分一覧表（表-3）に関する補足説明について

＜表-4＞ 受験資格区分一覧表（表-3）に関する補足説明表

種目	左記「種目」に関する補足説明
土木技術関係業務	社会を支える施設の計画、調査、測量、設計、施工、維持管理、解体、更新、架替、CAD オペレーター、その他社会基盤整備に直接的に関わる業務として当法人が認めたものを示す。 なお、単なる販売、営業、設備保守、運転手、建設機械オペレーター、写図工若しくは労務者としての経験又は単なる庶務、会計それらに類する事務に関する経験などは対象外。
学校教育法	昭和 22 年法律第 26 号による大学、短期大学、高等専門学校、工業高等学校を示す。
専門資格など	1 級土木施工管理技士、一級建築士、技術士（建設部門、農業部門－農業農村工学）、土木学会認定（特別上級、上級、1 級）の土木技術者、建設コンサルタンツ協会認定の RCCM、プレストレストコンクリート工学会認定のコンクリート構造診断士、日本コンクリート工学会認定のコンクリート診断士資格者

＜表-5＞ 指定学科（表-3）に関する補足説明表

学科	指定学科			
① 土木	土木(工学)科	開発工学科	海洋開発(工学)科	海洋工学科
	海洋土木工学科	環境開発科	環境建設科	環境整備工学科
	環境設計工学科	環境土木科	環境エネルギー工学科	建設技術科
	建設基礎工学科	建設(工学)科	建設環境工学科	建設システム(工学)科
	建築土木科	構造工学科	建設工業科	社会開発工学科
	社会建設工学科	水工土木(工)学科	資源開発工学科	土木海洋工学科
	土木環境工学科	土木建設工学科	地質工学科	土木地質科
	森林土木(学)科	森林工学科	土木建築(工学)科	林業土木科
	鉱山土木学科	砂防学科	林業工学科	緑地園芸科
	緑地(学)科	環境緑化科	治山学科	造園土木科
	緑地工学科	緑地土木科	環境緑地科	地域開発科学科
	造園(学)科	環境造園科	林業緑地科	社会基盤学科
	造園緑地科	造園林学科	造園工学科	市民工学科
	農業土木(学)科	生活環境科学科	造園デザイン(工学)科	
	農業開発科	農業技術学科	生産環境工学科	
	農林工学科	農林土木科	農業工学科（注 1）	

（注1） 東京農工大学、島根大学、岡山大学及び宮崎大学以外については農業機械学専攻、専修又はコースを除く

（注2） 学科名に関係なく生産環境工学コース・講座・専修・専攻

（注3） 学科名に関係なく農業土木学コース・講座・専修・専攻

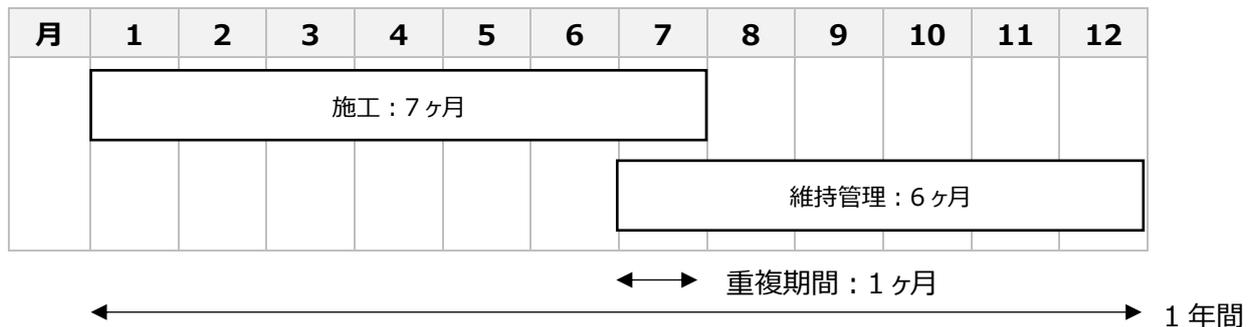
（注4） 学科名に関係なく農業工学コース・講座・専修・専攻

② 都市	都市工学科	環境都市工学科	環境システム(工学)科	
③ 衛生	衛生工学科 設備(工業)科	環境(工学)科 設備システム科	空調設備科	設備工学科

## 2-3. 土木技術関係業務（表-4）における実務経験について

- (1) 実務経験の計算について
  - ・ 実務経験年数は 2025 年 3 月 31 日時点で計算してください。
- (2) 実務経験が重複する場合の考え方について（図-6 の場合）
  - ・ 複数の土木技術関係業務を経験した場合、施工と維持管理で 1 か月間の重複期間があります。
  - ・ 施工と維持管理の経験期間の合計が 1 年（12 ヶ月）を超えないようにする必要があります。
  - ・ 重複期間については、実際の工事の従事割合（例えば日数）に応じて按分する必要があります。
  - ・ 例えば施工を 7 か月間とした場合、維持管理の申請可能な期間は 5 か月間となります。

＜図-6＞ 実務経験の重複について



## 3. 実務経験の証明について

### 3-1. 証明者についての注意事項

- ・ 当法人に提出された書類の審査過程において、記載内容に著しい不整合や矛盾が含まれることが判明した場合や重要な事実の記載が欠けている場合、実務経験に関して虚偽の証明等の疑いが生じた場合など、申請書の記載内容その他諸般の事情を総合的に考慮して適切な実務経験の証明であると当法人が認めるに足る十分な心証が得られない場合は、審査の結果として受験資格を承認しないことがあります。審査の結果、受験資格が認められない場合であっても、審査の理由や判断の根拠について当法人は一切の説明義務を負わず、審査結果に対する受験申請者からの異議は認められませんのであらかじめご了承ください。
- ・ 過去に当法人に対して虚偽の証明等を行った会社からの証明は受け付けません。又、虚偽の証明等の疑いが審査の過程で生じた場合は、以後その会社からの証明は受け付けない場合があります。  
具体的な内容については 3-2 をご確認ください。

### 3-2. 証明者についての説明事項

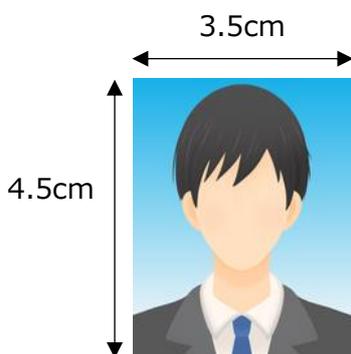
- ① 証明者は、建設工事又は建設業務を発注又は受注している会社の代表取締役等の代表者又はその代理の立場で受験申請者の人事権を有する方（人事部長・支店長等）となります。
- ② 証明者は別添「BIM/CIM 管理技士資格認定試験受験願書」の「1. 受験資格に関する情報」を確認のうえ、「2. 受験資格に関する証明書の押印箇所」に押印ください。

- ③ 受験申請者が派遣社員の場合は、派遣元が建設業の許可がある場合に限り受験が可能です。上記②（派遣元の押印）に加え、確認書類（派遣者氏名・派遣期間・派遣元・派遣先が確認できる書類で様式不問）が必要です。
- ④ 受験申請者の旧所属会社での実務経験が含まれている場合は、a)b)いずれかの方法にて申請してください。
  - a) 現所属会社が、旧所属会社での実務経験を含め全ての実務経験を証明する。
  - b) 現所属会社と旧所属会社がそれぞれにおける実務経験を証明する。（証明書を複写にて利用ください。）
- ⑤ 現在失業中の場合は、実務経験を申請する内容に記載した直近の勤務先で証明を受けてください。
- ⑥ 全ての書類の受験申請者氏名は同じである必要があります。氏名変更があった場合は、戸籍抄本（又は旧姓が併記された住民票）を添付してください。
- ⑦ 受験申請者が代表者（経営者）である場合は、証明者との関係欄に「本人」と記入してください。

## 4. 提出書類について

### 4-1. 受験資格区分に係わらず提出が必要な証明書類【共通】

- (1) 住民票抄本：住民票抄本のコピーや運転免許証のコピーは不可です。
  - ① 3か月以内に発行されたものに限りです。
  - ② 受験申請者ご本人の情報のみ記載のもので、マイナンバー記載は不要です。
  - ③ 氏名の変更等により、住民票抄本のみで受験申請者の「氏名」「生年月日」「現在の住所」の3点の一致が確認できない場合は、住民票抄本を補う戸籍抄本等が必要となります。
  - ④ 受験申込後に婚姻等により氏名変更の見込みがある方は、あらかじめ当法人宛にご相談ください。
- (2) 誓約書：住所・氏名は登録申請者ご本人が署名（自署）してください。記名（ゴム印等）は認められません。
- (3) 証明用写真（パスポート用）：
  - ① 受験願書の「1 頁目\_証明書類の貼付欄」に貼付してください。
  - ② 提出いただいた写真が印刷された受験票を、試験当日に持参いただきます。
  - ③ 証明用写真が規格に合わない場合、再提出が必要となります。



#### 提出写真（パスポート用、カラー、縦 4.5 cm×横 3.5 cm）の規格

- ・ 2025 年 2 月 1 日以降に撮影したもの
- ・ 正面、無帽、無背景であること
- ・ 鮮明であること（焦点が合っていること）
- ・ 明るさやコントラストが適切であり、影のないもの
- ・ 前髪などにより、目元や輪郭が隠れていないこと
- ・ 眼鏡レンズに光が反射していないこと
- ・ サングラスやマスク等を着用していないもの
- ・ 紛失防止の為、写真の裏面に氏名と撮影日を記入すること
- ・ 三つ折り線を活用する等により、写真に折り目が入らないこと

## (4) 振替払込請求書兼受領書：

- ① 受験願書の「3. 証明書類の貼付欄」に貼付してください。
- ② 受験料は、郵便局の窓口で振替払込用紙にて 16,500 円（税込み）を払込み、振替払込請求書兼受領領若しくはご利用明細票の、原本又はコピーを貼付してください。  
※ 個人ごとの払込みにてお願いします。（複数人分のおまとめはご遠慮ください。）  
※ 「日附印欄」に郵便局の印字が必要です。ATM 等の利用により「日附印」が無い場合については不要です。
- ③ 振替払込請求書兼受領証は、領収書に代わるものです。受験申請者ご本人が保管してください。  
ネットバンキングや電信振替（口座振替）での払込みについては受け付けておりません。
- ④ 受験料の払込みによる手数料は、受験申請者ご本人にてご負担ください。

## 4-2. それぞれの受験資格に応じて提出が必要な証明書類

## (1) 卒業証明書（卒業証書ではありません。コピーは不可です）

- ① 卒業証明書の発行日の決まりはありません。
- ② 大学院修了の方は、その一つ前の学歴である大学の卒業証明書を添付してください。

## (2) 専門資格を取得した事を証する書類（写し）

## ① 専門資格の対象：以下専門資格のいずれか

1 級土木施工管理技士、一級建築士、技術士（建設部門、農業部門－農業農村工学）、土木学会認定（特別上級、上級、1 級）の土木技術者、建設コンサルタンツ協会認定の RCCM、プレストレストコンクリート工学会認定のコンクリート構造診断士、日本コンクリート工学会認定のコンクリート診断士資格者

<(1)(2)共通> 証明書の記載が旧姓の場合は、戸籍抄本（又は旧姓が併記された住民票）を添付してください。

・受験申請者の氏名について証明書類と照合いたします。相違がある場合は受験できません。

## 5. 受験申込受付期間、及び申込方法について

受付期間	2025 年 3 月 24 日(月) ～ 5 月 16 日(金)【必着】
提出先	公益財団法人 日本建設情報技術センター 資格制度課 宛
住所	〒160-0004 東京都新宿区四谷 1 丁目 4 番地 四谷駅前ビル 3F

- ① 全書類に不備がない事が条件で、2025 年 5 月 16 日(金)到着分まで有効です。それ以降は受付できません。
- ② 本申込書類一式を封筒に入れ、受験申請者個人別にて送付してください。
- ③ 一つの封筒に複数人の申込書類を同封して送付した場合は、申込みを受け付けません。
- ④ 郵便局の窓口で、必ず簡易書留にて送付してください。ポストに投函しないでください。
- ⑤ 宅配便等を利用した申込みや直接持参による申込みは、固くお断りします。
- ⑥ 申込書類に不備や不足があると受験できません。必ず受験申請者本人が記入・確認のうえ送付してください。
- ⑦ 一度提出された書類は、如何なる事情であっても返還いたしません。
- ⑧ 封筒裏面に受験申請者の氏名、住所を必ずご記入ください。

## 6. 受験料について

- ① 受験料は、¥16,500（¥15,000+税）です。
- ② 受験料には、本申込書類に関する審査料が含まれています。
- ③ 受験料には、CBT 方式（マイページ登録、試験会場利用、CBT による受験）による費用が含まれています。
- ④ 受験料にテキスト代は含みません。テキストは必要に応じて別途ご購入ください。
- ⑤ 受験料の払込みによる手数料は、受験申請者ご本人にてご負担ください。
- ⑥ 受験料の払込み、且つ申込書類一式の提出をもって本申込みとなります。
- ⑦ 受験料に不備や不足があると受験できません。

## 7. 試験の日時、及び内容について

- (1) 試験日：2025年7月6日（日）
- (2) 試験会場：受験申請者により、2025年6月6日17:00時点において選択した試験会場
- (3) 試験時間：

分類	時間
受付、手荷物の預け入れ	13時30分～13時45分 ・13時30分よりも早い時間に受付は出来ません
試験時間	14時00分～15時30分

- (4) 試験内容：
  - ① 出題範囲：国土交通省「公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格登録規程」において確認すべき資格付与試験等の要件とされている次の3つの項目が確認できるものとする。
    - 1) BIM/CIMに関する専門知識を有することを確認するものであること
    - 2) 国土交通省のBIM/CIMに係る最新の基準、要領に関する知識を有することを確認するものであること
    - 3) BIM/CIMに関し、実務経験を有する者を対象としていること
  - ② 問題数：全50問。
  - ③ 回答方式：多肢選択式
- (5) 合格基準：
  - ① 全体の得点が概ね6割以上を標準とする。
  - ② 受験資格のない方及び書類不備等により受験できない方には、事前に文書にて通知します。
- (6) 合格者の通知：
  - ① 当法人のホームページにて、受験番号による公表を行います。
  - ② 合格者宛に合格通知書、並びにBIM/CIM管理技士登録証に関する申請書類を送付します。
  - ③ 試験の成績や正答についての通知は行いません。また問い合わせにもお答えできません。

## 8. 試験会場について

### 8-1. 問い合わせ先について

① BIM/CIM 管理技士資格認定試験の運営全般について

- ・ 名称：【JCITC】公益財団法人 日本建設情報技術センター 資格制度課
- ・ URL： <https://www.jcitic.or.jp>
- ・ メール： bimcim-info@jcitic.or.jp

② 試験会場の予約、及び当日の試験会場での対応について

- ・ 名称：【CBTS】株式会社 シー・ビー・ティ・ソリューションズ
- ・ URL： <https://cbt-s.com/examinee/>

※ CBTS 宛にお問い合わせが出来る条件は、2025 年 4 月 1 日（火）以降であり、且つ「試験会場案内（8-2、表-7、NO.6）」を受信した後となります。条件が整うまで CBTS としては受験申請者情報を知り得ない為お問い合わせに対応できません。

※ 全ての内容において、試験会場宛に直接お問い合わせいただく事はご遠慮ください。

### 8-2. 「受験の申込み～登録証の発行」までの流れ、及び問い合わせ先について

<表-7> 「申込み～登録証送付」までの流れ、及び問い合わせ先

NO	項目	内容	問い合わせ先
1	申込み受付	ホームページにて案内します。	JCITC
2	仮申込申請	ホームページから申請してください。	
3	受験料払い込み	郵便局で受験料をお支払ください。	
4	本申込（願書提出）	当法人宛に必要な書類をご提出ください。	
5	テキスト本購入（任意）	受験申請者ご自身にて手配ください。	建設物価サービス販売部
6	試験会場案内	試験会場関連メールが送信されます。	JCITC
7	試験会場の選択	マイページにログインのうえ、ご希望の試験会場を選択ください。	CBTS (2025/4/1 以降)
8	受験票送付	受験票を PDF にてメール送信します。	JCITC
9	受験	各試験会場にて受験してください。	CBTS
10	合格発表	ホームページにて受験番号を公表します。	JCITC
11	登録申請書受付	登録料をお支払いのうえ、申請ください。	
12	登録者発表	ホームページにて氏名を公表します。	
13	登録証送付	内容精査のうえ、発送します。	

### 8-3. 試験会場（テストセンター）の選択に伴う流れについて（表 7 の補足）

- ① <表 7-6> JCITC による本申込書類の審査の後、受験申請者宛に「試験会場案内」のメールが送信されます。
  - ・ このメールが送信されていない場合は、②以降に進む事は出来ません。従いまして CBTS 宛に問い合わせる事は出来ません。
  - ・ このメールを受信する事は、本申込書類に問題が無かった事になります。
- ② <表 7-7> 受験申請者は 2025 年 4 月 1 日以降、CBT 運営の受験者専用サイトからマイページにログインいただきます。
- ③ <表 7-7> 受験申請者はマイページの試験会場一覧から、ご自身にて試験会場を選択いただけます。
  - ・ 試験会場の場所については、受験申請者の住所（現住所、住民票、勤務先）を問いません。
  - ・ 必ずしもご希望会場をお約束するものではありません。
  - ・ ご希望の試験会場が満席等の場合は、全国の他の試験会場を選択してください。
  - ・ 試験会場を選択後、2025 年 6 月 6 日（金）17:00 迄は試験会場の変更を行う事が出来ます。
  - ・ 2025 年 6 月 6 日（金）17:00 が締め切りであり、その時点で選択された会場が最終決定となります。
  - ・ 締め切りを過ぎると、試験会場選択及び試験会場変更が出来ません。
  - ・ 締め切り時点において何れの試験会場も選択されていない場合は、失格となり受験料返還もありません。
  - ・ 試験会場では、BIM/CIM 管理技士資格認定試験以外の試験も実施される事をご了承ください。
  - ・ 全国の受験会場全てが満席の場合は受験する事が出来ません。2025 年 6 月 6 日（金）17:00 の時点で全国の会場に空きがない事が確認された場合は、12-2-(4)を参照してください。
- ④ <表 7-8> JCITC から受験申請者宛に、受験票を PDF にてメール送信します。
  - ・ メール送信時期： 2025 年 6 月 9 日（月）～6 月 20 日（金）
  - ・ 上記③にて選択された試験会場の情報が受験票に記載されます。
  - ・ このメールを受信する事は、試験会場が確定した事になります。
  - ・ 受験票に記載された情報以外の試験会場で受験する事は出来ません。
  - ・ 受験票に記載された試験会場で受験できない場合は欠席となり受験料返還もありません。
- ⑤ <表 7-9> 受験申請者は、身分証明書原本と併せて受験票をカラー印刷のうえ、試験会場にお越しください。

## 9. 推奨テキスト本について

7-(4)-① 出題範囲に関する以下推奨テキスト本は、必要に応じて受験者ご自身で手配ください。

- ・ 書籍名：2025 年版 BIM/CIM 概論
  - ※ 2024 年 3 月 29 日に発行しました「BIM/CIM 概論」と内容は異なります。
- ・ 購入先：(株)建設物価サービス販売部（TEL：03-3663-8711）
- ・ 購入方法：[オンラインショップ 建設物価 BookStore](#)
- ・ 価格：¥5,995（消費税込み）
- ・ 発売日：2025 年 4 月上旬より予定。

## 10. 受験票の送付について

- ① 試験会場確定後、受験票を受験申請者宛にメールにて送付します。
- ② 受験資格のない方および書類不備等により受験できない方には、事前に文書にて通知します。
- ③ 受験票記載内容（受験申請者情報、試験情報、注意事項）を必ず確認のうえ、大切に保管してください。
- ④ 受験票はカラー印刷のうえ、受験者記入欄に受験申請者ご本人がご記入ください。
- ⑤ 受験票は試験会場にご持参いただき、受付時に回収します。未回収の場合は受験失格となります。
- ⑥ 受験票の試験情報欄に記載の試験会場以外では受験する事が出来ません。誤った試験会場に来場したことにより試験情報欄に記載の試験会場で受験ができない結果となった場合は、単なる欠席となります。受験料の返還もありませんのでご注意ください。
- ⑦ 受験票を紛失した方は、必ず事前に資格制度課へ問い合わせください。
- ⑧ 受験票に伴い、試験会場宛に直接問い合わせいただく事はご遠慮ください。

## 11. 受験に際しての注意点

(1) 試験当日に必要なもの： 以下①②いずれも持参ください。不備の場合は受験する事が出来ません。

- ① 受験票： メールにて入手した PDF を、A4 カラー印刷のうえ持参してください。
- ② 身分証明書： 以下 1)2)のいずれかを持参ください。
  - 1) 顔写真付きのもの一点： 運転免許証、パスポートなど
  - 2) 顔写真なしのもの二点： クレジットカード、保険証など

(2) 試験会場における注意点

- ① 試験当日は 13 時 45 分までに試験会場の受付にて、身分証明書の提示、且つ受験票を提出いただきます。
- ② 受付時点において受験票の受験者記入欄に不備がある場合や受験票の未提出の場合は失格となります。
- ③ 身分証明書以外の私物（携帯電話、財布、腕時計、帽子、イヤホン、かばん、筆記用具、メモ用紙、その他試験監督官から持ち込みを禁じられた物品）は、試験監督官に指示された方法で所定の場所（ロッカー等）に保管いただきます。身分証明書以外の私物を試験室に持ち込む事は一切出来ません。  
基本的に受付では貴重品のお預かりはしません。ロッカーに入らない大きな荷物の持参はご遠慮ください。大きさの詳細は CBTS（8-1-②）宛にお問い合わせください。
- ④ 遅刻した場合、試験開始後 30 分（14 時 30 分）を超える時刻に、試験室に入室出来ません。
  - ・ 30 分以内の場合： 遅延証明書は不要で、試験終了時刻（15:30）まで受験可能です。  
如何なる理由であろうと、遅刻による採点調整、試験終了時刻調整はしません。
  - ・ 30 分超過の場合： 公共交通機関等による著しい遅延の場合であっても受験する事は出来ません。欠席となります。
- ⑤ 受付にて配布する「受験ログイン情報用紙」と、身分証明書を持参のうえ試験室に入室します。
- ⑥ 試験会場内では換気や空調を使用する場合があります。寒暖の調整ができる服装でお越しください。
- ⑦ 試験室に入室後、指定されたパソコンにてログインを行い、チュートリアルにて試験の説明を受けます。
- ⑧ チュートリアル終了後に試験開始となり、14:00 よりも早めに試験開始できる場合もあります。
- ⑨ 試験開始後はパソコンにて、試験終了迄の残り時間の確認ができます。

- ⑩ 試験終了時刻は、試験を開始した時刻から最大 90 分間で、遅くとも 15:30 迄となります。
  - ⑪ パソコンにて試験終了操作を行い、試験終了に関する書類を受け取り試験終了となります。
  - ⑫ 正常に試験終了の手続きが出来る場合は、試験終了時刻より早い時刻で試験を終了する事が出来ます。
  - ⑬ 試験終了操作を行う迄退室できません。試験終了の操作をする前に試験監督官の許可を得ることなく退室した場合には、その時点で試験を棄権したものとみなし、失格となります。
  - ⑭ 試験終了操作を行った後、試験を再開する事はできません。
  - ⑮ 試験中に、試験監督官の許可なくパソコンの機能を停止する事や試験環境を不全にする行為及び試験に必要なアプリケーション等以外を活用する事を禁止します。
  - ⑯ 試験中は飲食、喫煙、会話、その他の受験申請者に迷惑となる行為を禁止します。
  - ⑰ 試験中は、試験の公平性や安全性の確保の為、試験監督官により目視やその他の方法に監視され、ビデオ録画やその他の方法で記録される場合があります。
  - ⑱ 試験中に受験の妨げになるような事態が発生した場合は、直ちに試験監督官に報告してください。
  - ⑲ 試験監督官に対して、試験内容に関する質問をすることを禁止します。
  - ⑳ トイレ等離席が必要な場合や衣服の着脱の際は、着席の状態ですぐに挙手、合図、ボタン押下してください。
  - ㉑ 不正行為を行った者及び試験監督官の指示に従わない者には、退場を命じます。
  - ㉒ 上述 11-(2)全ての留意事項に従わない場合、若しくは試験監督官の個別の指示に従わない場合は、試験結果の無効、登録資格の抹消等、損害賠償の請求等の措置を講じる場合があります。
  - ㉓ 試験会場にお越しの際は、公共交通機関（電車・バス等）をご利用ください。
- (3) 不正行為に対する受験禁止措置について
- 申込書類の記載等に虚偽がある場合や試験当日に不正が発覚した場合は、受験資格又は合格判定の取り消しを行ったうえで、本年度の試験を含む今後実施される認定試験の受験を禁止する措置を講じることがあります。

## 12. 受験料の返還、受験申請者のキャンセルについて

### 12-1. 受験料の返還に関する原則について

- ① 原則として既納の受験料は返還されません。但し、当法人が受験申請書類の審査を行わない場合を除きます。
- ② 当法人が受験申請書類の審査を行わなかった場合のみ、受験料は返還されます。
- ③ 当法人が受験申請書類の審査を開始した後は既納の受験料の返還は行いませんので、本手引きの記載内容に同意のうえで受験料の納入及び受験申請を行ってください。
- ④ 受験料の返還を行う場合は、返還する理由を通知のうえ、受験申請者ご本人名義の銀行口座又は郵便小為替にて返還いたします。返還金額は原則として所要の手数料を差し引いた金額となります。

### 12-2. 受験料の返還に関する取扱いについて

#### (1) 受験料の返還を行わない場合の具体例

- ① 受付期限（2025 年 5 月 16 日）内に受験申請書類が当法人に到着した場合において、審査開始後、受験申請者が提出した書類に不備（必須記入事項の一部未記入や誤り、書類不足等）が発見され、当法人が指定した受付期限（2025 年 5 月 16 日）までに書類の補正（全ての必要事項が適切に記入された書類の再提

出、不足書類の追加提出等) が完了しない場合。この場合、受験は認められません。また、納入済み受験料の返還は行いません。

- ② 受付期限 (2025 年 5 月 16 日) 内に受験申請書類が当法人に到着した場合において、当法人の受験審査の途中又は審査の完了後に、受験申請者が署名した誓約書に記載された表明・誓約事項に違反する事実が明らかになり、受験の拒否又は受験資格が取り消された場合。この場合納入済み受験料の返還は行いません。
- ③ 受付期限 (2025 年 5 月 16 日) 内に受験申請書類が当法人に到着した場合において、当法人が受験審査の開始後、受験申請者が翻意して受験申請の取下げ (キャンセル) を当法人に申し出た場合。この場合、納入済み受験料の返還は行いません。
- ④ CBTS の判断により受験が拒否された場合  
当法人における受験申込書類審査の承認後において、受験申請者が CBTS の定める利用規約に違反した場合 (過去に違反した事実が発覚した場合も含む。) その他 CBTS が認定した事由により受験申請者が CBTS の受験サービスを利用することが適切ではないと CBTS が判断した場合。この場合、CBTS が提供する試験会場の利用を含む受験サービスの利用が拒否され、試験を受験することができない取扱いとなりますが、受験料は返還されませんのでご注意ください。

## (2) 受験料の全額返還を行う場合の具体例

- ① 受付期限 (2025 年 5 月 16 日) を過ぎて受験申請書類が当法人に到着した場合。この場合、受付期限を過ぎているため受験申請書類の審査を行わず、受験料の全額を返還します。
- ② 当法人の責めに帰すべき事由によって受験申請書類の審査が行われない場合。この場合、受験申請書類の審査が行われないことによって受験申請者に何らかの損害が発生する場合であっても、当法人が負担する損害賠償の範囲は当法人から返還する受験料の額が限度となります。
- ③ 当法人の責めに帰すべき事由によって受験できない場合。この場合、受験できないことによって受験申請者に何らかの損害が発生する場合であっても、当法人が負担する損害賠償の範囲は当法人から返還する受験料の額が限度となります。

## (3) 受験料の全額返還又は受付期間延長等の合理的措置を行う場合

- ① 当法人及び受験申請者の当事者双方の責めに帰すことができない事由 (天災、自然災害の発生、感染症の蔓延による緊急事態宣言の発令その他の不可抗力) により、所定の期日までに受験申請書類 (不備の無い完全な書類) の提出が出来なかった場合又は当法人において受験申請書類の審査実施が物理的に困難な状況が発生した場合、受験料の全額を返還いたします。
- ② 当法人及び受験申請者の当事者双方の責めに帰すことができない事由 (天災、自然災害の発生、感染症の蔓延による緊急事態宣言の発令その他の不可抗力) により試験が中止になった場合、受験料の全額を返還いたします。
- ③ このような不可抗力が発生した場合においては、社会全体の諸情勢を鑑みて、受験料返還以外の代替的選択肢として受験申請書類の受付期間延長等の合理的措置を行う場合があります。尚、不可抗力が発生した場合において試験が中止になった場合でも、再試験は実施しません。

## (4) 全国の試験会場が満席のため受験できない場合の取扱い

全国の試験会場が満席であることが原因で受験が出来なかった旨の申し出が 2025 年 7 月 16 日 18:00 迄に当法人に対してあった場合においては、2025 年 6 月 6 日 17:00 の時点において全国の会場が満席である事実が当法人で確認できた場合に限り、申し出があった受験申請者に対して受験料の半額を返還します。ただし、全国の試験

会場のいずれか 1 か所以上において受験可能であるにもかかわらず、2025 年 6 月 6 日 17:00 までに試験会場の選択を適切に行わずに受験しない場合や自己都合で試験を欠席した場合は、単なる受験放棄の取扱いとなり、失格となります。この場合受験料の返還は一切ありませんのでご注意ください。

(5) 公共交通機関の著しい遅延により受験できない場合の取扱い

公共交通機関の著しい遅延により受験できなかった旨の申し出及び遅延証明書の提出が 2025 年 7 月 16 日 18:00 迄に当法人に対してあった場合は、申し出があった受験申請者に対して受験料の半額を返還します。

### 12-3. 受験申請者の変更、又はキャンセルについて

- ① 受験申請者の変更はできません。仮に同じ会社に所属する者であっても、受験申請者の変更は一切できません。
- ② 受験をキャンセルする場合は、必要事項を明記のうえメールにてお知らせください。
  - 1) メール宛先：[bimcim-info@jcitc.or.jp](mailto:bimcim-info@jcitc.or.jp)
  - 2) 必要事項：
    - ・ 2025/7/6 実施予定の BIM/CIM 管理技士資格認定試験の受験をキャンセルする事、及び理由。
    - ・ 氏名、ふりがな、申込申請時に登録したメールアドレス
- ③ 受験をキャンセルする方の払い込み済み受験料の返還については、上記 12-1 に準じます。

### 13. (参考) BIM/CIM 管理技士資格の登録証について

- ① 登録申請の流れ
  - 1) 7-(5)合格基準の達成者宛に、合格通知書、及び登録申請に関する申請書類を送付します。
  - 2) 登録証の発行を希望する場合は、登録料をお支払いのうえ、申請書類を提出いただきます。
  - 3) 13-①-2) にて提出いただいた住民票の住所宛に登録証を送付します。
- ② 登録料： ¥16,500 (¥15,000 + 税)
- ③ 支払方法： 郵便局の窓口で振替払込用紙にて払い込みください。
- ④ 写真提出： 4-1 にて提出いただいた写真を登録証票に活用する為、提出は不要です。  
登録申請の際に改めて写真を提出いただいた場合は、再提出分を活用します。
- ⑤ 詳細情報： 詳細は、13-①-1) にて送付する「登録申請の手引き」を参照ください。

## 14. (参考) CBTS 試験会場について

&lt;表-8&gt; CBTS 試験会場一覧 (2024/12/9 参考) ※情報の変更がある場合も通知しません。

都道府県/都市	会場数								
北海道	15	前橋市	3	新潟県	9	京都市下京区	4	防府市	1
旭川市	2	太田市	1	佐渡市	1	京都市中京区	2	徳島県	2
釧路市	1	埼玉県	17	十日町市	1	京都市伏見区	1	徳島市	2
札幌市	4	さいたま市	5	上越市	1	福知山市	1	香川県	2
室蘭市	1	越谷市	1	新潟市	3	大阪府	21	高松市	2
帯広市	2	吉川市	1	長岡市	2	岸和田市	1	愛媛県	5
稚内市	1	熊谷市	1	南魚沼市	1	阪南市	1	宇和島市	1
苫小牧市	1	春日部市	1	富山県	4	堺市	3	松山市	3
函館市	2	所沢市	2	高岡市	2	四條畷市	1	新居浜市	1
北見市	1	上尾市	1	中新川郡	1	吹田市	1	高知県	2
青森県	8	深谷市	1	富山市	1	大阪市阿倍野区	1	高知市	2
弘前市	3	川越市	3	石川県	6	大阪市西淀川区	1	福岡県	17
青森市	4	富士見市	1	金沢市	6	大阪市中央区	4	久留米市	1
八戸市	1	千葉県	14	福井県	2	大阪市都島区	1	古賀市	1
岩手県	4	習志野市	2	福井市	2	大阪市北区	4	大牟田市	1
一関市	1	松戸市	1	山梨県	4	大阪市浪速区	1	筑後市	1
釜石市	1	千葉市	4	甲府市	3	東大阪市	1	筑紫野市	1
盛岡市	2	船橋市	2	富士吉田市	1	枚方市	1	飯塚市	1
宮城県	6	銚子市	1	長野県	6	兵庫県	8	福岡市	7
石巻市	1	柏市	2	岡谷市	1	洲本市	1	福津市	1
仙台市	5	木更津市	1	松本市	1	神戸市	2	北九州市	3
秋田県	4	流山市	1	長野市	2	西宮市	1	佐賀県	3
秋田市	1	東京都	33	東御市	1	南あわじ市	1	佐賀市	2
大仙市	1	江戸川区	1	飯田市	1	姫路市	2	唐津市	1
湯沢市	1	港区	1	岐阜県	4	宝塚市	1	長崎県	3
北秋田市	1	荒川区	2	岐阜市	2	奈良県	4	佐世保市	1
山形県	5	渋谷区	5	高山市	1	橿原市	2	長崎市	1
山形市	1	小笠原村	1	大垣市	1	桜井市	1	南松浦郡	1
酒田市	1	新宿区	5	静岡県	7	奈良市	1	熊本県	3
鶴岡市	1	千代田区	1	沼津市	2	和歌山県	3	熊本市	2
東根市	1	足立区	1	静岡市	3	田辺市	1	人吉市	1
米沢市	1	中央区	2	浜松市	2	和歌山市	2	大分県	3
福島県	5	町田市	3	愛知県	15	鳥取県	4	佐伯市	1
いわき市	1	八王子市	2	一宮市	1	境港市	1	大分市	2
会津若松市	1	品川区	1	岡崎市	1	倉吉市	1	宮崎県	4
郡山市	2	府中市	1	蒲郡市	1	鳥取市	2	延岡市	1
福島市	1	豊島区	4	瀬戸市	1	島根県	3	宮崎市	2
茨城県	8	墨田区	1	知多郡	1	益田市	1	都城市	1
つば市	1	立川市	2	知立市	1	松江市	2	鹿児島県	7
下妻市	1	神奈川県	15	豊橋市	1	岡山県	4	阿久根市	1
守谷市	1	横須賀市	1	名古屋市	8	岡山市	3	奄美市	1
神栖市	1	横浜市神奈川区	1	三重県	3	倉敷市	1	鹿屋市	1
水戸市	2	横浜西区	2	伊勢市	1	広島県	8	鹿児島市	3
土浦市	2	横浜市青葉区	1	四日市市	1	呉市	1	枕崎市	1
栃木県	4	横浜市中区	3	津市	1	広島市	5	沖縄県	6
宇都宮市	2	鎌倉市	1	滋賀県	2	福山市	2	沖縄市	1
小山市	1	厚木市	1	近江八幡市	1	山口県	5	宮古島市	1
栃木市	1	小田原市	1	大津市	1	宇部市	1	石垣市	1
群馬県	5	川崎市	3	京都府	9	下関市	1	那覇市	2
高崎市	1	平塚市	1	京丹後市	1	山口市	2	名護市	1

## 15. 「BIM/CIM 管理技士資格認定試験」本申請書類の記入例

## (1) 証明用写真の貼付箇所

「BIM/CIM 管理技士認定試験」受験願書【一般用】  
「2024 年度版 BIM/CIM 管理技士資格認定試験」受験願書

公益財団法人 日本建設情報技術センター 代表理事 殿

BIM/CIM 管理技士資格認定試験を受験したい為、必要事項に記入並びに関係書類を添付のうえ申し込みます。

**撮影日の記入が必須**

【西暦 2025 年 2 月 25 日撮影】

1. 受験資格に関する情報

実施日	2025 年 7 月 6 日 (日)	受験番号 ※記入不可	記入しないでください
-----	--------------------	---------------	------------

三つ折り封入の場合は、三つ折り線を利用いただく等、写真に折り目が入らない様にしてください。

## (2) 受験申請者情報における注意点【重要】

「氏名」「住所」「生年月日」の箇所において、以下の①～⑦の全ての書類を比較して相違がある場合は、書類不備となり再提出いただきます。西暦、和暦の表記違いは問題ありません。

## ① 受験願書 1 頁目「受験資格に関する情報」

フリガナ ※必須	ザイダン タロウ	生年月日 (西暦) ※必須	1990 年 1 月 1 日
氏名 ※必須	財団 太郎	性別	<input checked="" type="radio"/> 男性 <input type="radio"/> 女性
メールアドレス ※必須	xxxxx@xxxxx.co.jp		
フリガナ ※必須	トウキョウトシンジユクヨツヤ 1 チョウメ 1 バンチ 1 ゴウ		
現住所 ※必須	(〒 100 - 0001 ) 東京都新宿区四谷 1 丁目 1 番地 1 号 TEL(目玉又は携帯) 03 - 1111 - 2222		

## ② 受験願書 2 頁目「実務経験証明書 (受験資格区分が 1,2 の場合は記入が必要)」

受験申請者	フリガナ	ザイダン タロウ	生年月日	1990 年 1 月 1 日	証明者との関係	社長と社員
	氏名	財団 太郎	現住所	東京都新宿区四谷 1 丁目 1 番地 1 号		

## ③ 住民票：氏名、住所、生年月日の箇所

④ (戸籍抄本)：氏名変更等があった場合、戸籍抄本又は旧姓が併記された住民票が必要です。

## ⑤ 誓約書：氏名、住所の箇所

⑥ 卒業証明書：氏名、住所、生年月日のうち、記載のある項目の箇所

⑦ 専門資格証明書：氏名、住所、生年月日のうち、記載のある項目の箇所

※ 受験資格区分により書類の要不要が異なります。(区分 2：⑥が必要、区分 3：⑦が必要)

## (3) 2-1. 受験資格区分ごとの記入例

## ① 「区分が1」の場合の記入例

&lt;表-3&gt; 受験資格区分一覧表（受験資格区分の1～3の何れかにて受験できます。）

区分	学歴	実務経験	専門資格
1	不問	土木技術関係業務（表-4）に3年以上の実務経験済み	不問
2	学校教育法（表-4）による大学、短期大学、高等専門学校、工業高等学校にて指定学科（表-5）を就学後に卒業	土木技術関係業務に2年以上の実務経験済み	不問
3	不問	不問	専門資格など（表-4）



## ■ 受験願書（別紙）の記入例

## 1) 実務経験を証明する情報をご記入のうえ、証明者により押印ください。

2. 実務経験証明書						
下記の受験申請者の実務経験について、以下記載に間違いがないことを証明します。（会社の横判可）						
作成日		2025年 4月 1日（西暦）			押印箇所	
証明者	会社又は事業者名	〇〇建設株式会社				
	所在地	東京都新宿区四谷 1-1-2				
	T E L	03 — 1111 — 3333				
	役職名	代表取締役				
	氏名	〇〇 一郎				
受験申請者	フリガナ	ザイダン タロウ	生年月日	1990年 1月 1日	証明者との関係	社長と社員
	氏名	財団 太郎	現住所	東京都新宿区四谷 1丁目 1番地 1号		
土木技術関係業務における実務経験 ※記入欄が足りない場合は、本ページを複写してください。						
勤務先名	勤務先所在地	所属（部署名）	業務※1	土木技術関係業務における実務経験年数		
〇〇建設(株)	東京都新宿区四谷 1-1-2	建設部	5	H24年 7月～ H27年 3月（2年 8ヶ月）		
〇〇建設(株)	東京都新宿区四谷 1-1-2	建設部	6	H27年 9月～ H27年 3月（0年 6ヶ月）		
<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; display: inline-block;">           AA 橋上部工事、BB ダム設計業務等の、「発注案件名（工事名・業務名）」の記入は不要です。         </div>						
土木技術関係業務における実務経験年数の合計				3年 2ヶ月		
<表中業務※1について>						
・ 土木技術関係業務のうち、下表から該当する番号を「業務※1」欄に記入ください。						
1: 計画	2: 調査	3: 測量	4: 設計	5: 施工	6: 維持管理	
7: 解体	8: 更新	9: 架替	10: CAD オペレーター		11:	

②「区分が2」の場合の記入例

<表-3> 受験資格区分一覧表（受験資格区分の1～3の何れかにて受験できます。）

区分	学歴	実務経験	専門資格
1	不問	土木技術関係業務（表-4）に3年以上の実務経験済み	不問
2	学校教育法（表-4）による大学、短期大学、高等専門学校、工業高等学校にて指定学科（表-5）を就学後に卒業	土木技術関係業務に2年以上の実務経験済み	不問
3	不問	不問	専門資格など（表-4）



■ 受験願書（別紙）の記入例

1) 最終学歴欄にご記入ください。

最終学歴 ※受験区分2の場合のみ必須	学校・学部名	学科名	在学期間若しくは修業年限 (西暦)		卒業又は 修了
			自	至	
	〇〇大学	土木科	2010年 4月	2014年 3月	卒業 修了
			期間 4年 0ヶ月		

2) 実務経験を証明する情報をご記入並びに証明者により押印ください。

**2. 実務経験証明書**

下記の受験申請者の実務経験について、以下記載に間違いがないことを証明します。（会社の横判可）

作成日		2025年 4月 1日（西暦）		押印箇所		
証明者	会社又は事業者名	〇〇建設株式会社				
	所在地	東京都新宿区四谷 1-1-2				
	T E L	03 — 1111 — 3333				
	役職名	代表取締役				
氏名	〇〇 一郎					
受験申請者	フリガナ	ザイダン タロウ	生年月日	1990年 1月 1日	証明者との関係	社長と社員
	氏名	財団 太郎	現住所	東京都新宿区四谷 1丁目 1番地 1号		
土木技術関係業務における実務経験 ※記入欄が足りない場合は、本ページを複写してください。						
勤務先名	勤務先所在地	所属(部署名)	業務※1	土木技術関係業務における実務経験年数		
〇〇建設(株)	東京都新宿区四谷 1-1-2	建設部	5	H24年 7月～ H27年 3月 ( 2年 8ヶ月)		
〇〇建設(株)	東京都新宿区四谷 1-1-2	建設部	6	H27年 9月～ H27年 3月 ( 0年 6ヶ月)		
土木技術関係業務における実務経験年数の合計				3年 2ヶ月		

AA 橋上部工事、BB ダム設計業務等の、「発注案件名（工事名・業務名）」の記入は不要です。

<表中業務※1について>

- 土木技術関係業務のうち、下表から該当する番号を「業務※1」欄に記入ください。

1: 計画	2: 調査	3: 測量	4: 設計	5: 施工	6: 維持管理
7: 解体	8: 更新	9: 架替	10: CAD オペレーター	11:	

## ③「区分が3」の場合の記入例

<表-3> 受験資格区分一覧表（受験資格区分の1～3の何れかにて受験できます。）

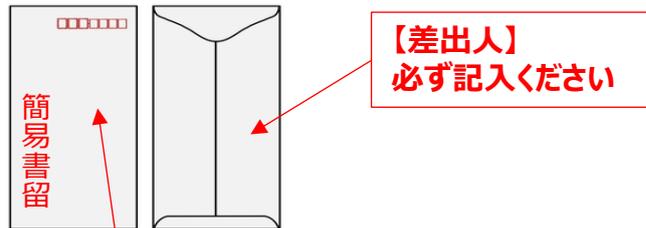
区分	学歴	実務経験	専門資格
1	不問	土木技術関係業務（表-4）に3年以上の実務経験済み	不問
2	学校教育法（表-4）による大学、短期大学、高等専門学校、工業高等学校にて指定学科（表-5）を就学後に卒業	土木技術関係業務に2年以上の実務経験済み	不問
3	不問	不問	専門資格など（表-4）

## ■ 受験願書（別紙）の記入例

## 1) 試験、検定、免許の欄にご記入ください。

受験資格に直接関係のある試験、検定、免許	名 称	合格年月日または免許を受けた年月日	受験資格を証明する番号、記号等（登録番号、受験番号、等）
	1級土木施工管理技士	令和 5 年 ○月 ○日	登録番号：xxxxxxxxxxxxxx

## (4) 本申込書類（受験願書等）提出用の封筒について



【宛先】  
〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-4 四谷駅前ビル 3 F  
公益財団法人 日本建設情報技術センター 資格制度課宛

## (5) 訂正する際、訂正印を利用する場合について

① 印鑑の種類：認印による押印で問題ありません。また、印鑑証明も不要です。

② 訂正印例：

## ■ 文字の訂正の場合

- ・誤り箇所にも二重線を引く
- ・二重線の箇所（若しくは空欄）に押印する
- ・字が重ならない様に正しい文字を書く

新宿  
東京都 ~~渋谷~~ 区四谷

## ■ 押印の訂正の場合

- ・誤り箇所にも二重線を引く
- ・二重線の箇所に押印する
- ・印が重ならない様に再度押印する



(6) 証明書類の貼付欄について

① 振替払込請求書兼受領書の箇所について

1) 振替払込用紙に以下情報をご記入のうえ、郵便局の窓口にて払い込みください。

払込取扱票									
00									
00150	4	263775				金額	16500		
加入者名 公益財団法人 日本建設情報技術センター					料金	備考			
ご依頼人・通信欄 <b>BIM/CIM 管理技士認定試験受験料</b> <b>2025/7/6</b> <b>受験申請者様の住所、氏名</b>									
ご依頼人欄に、おとごう・おなまえをご記入ください。(漢字・カタカナ)					日附印				
これより下部には何も記入しないでください。									

振替払込請求書兼受領証									
口座記号番号 00150 4									
加入者名 263775 公益財団法人 日本建設情報技術センター									
金額 16500									
ご依頼人 受験申請者様の 住所、氏名									
料金					日附印				
備考									

2) 振替払込請求書兼受領書を貼付欄に貼り付けてください。

振替払込請求書兼受領証									
口座記号番号 00150 4									
加入者名 263775 公益財団法人 日本建設情報技術センター									
金額 19800									
ご依頼人 受験申請者様の 住所、氏名									
料金					日附印				
備考									

【日附印 (例)】  
内税〇%〇円  
07-〇-〇  
××××××××  
17月〇〇

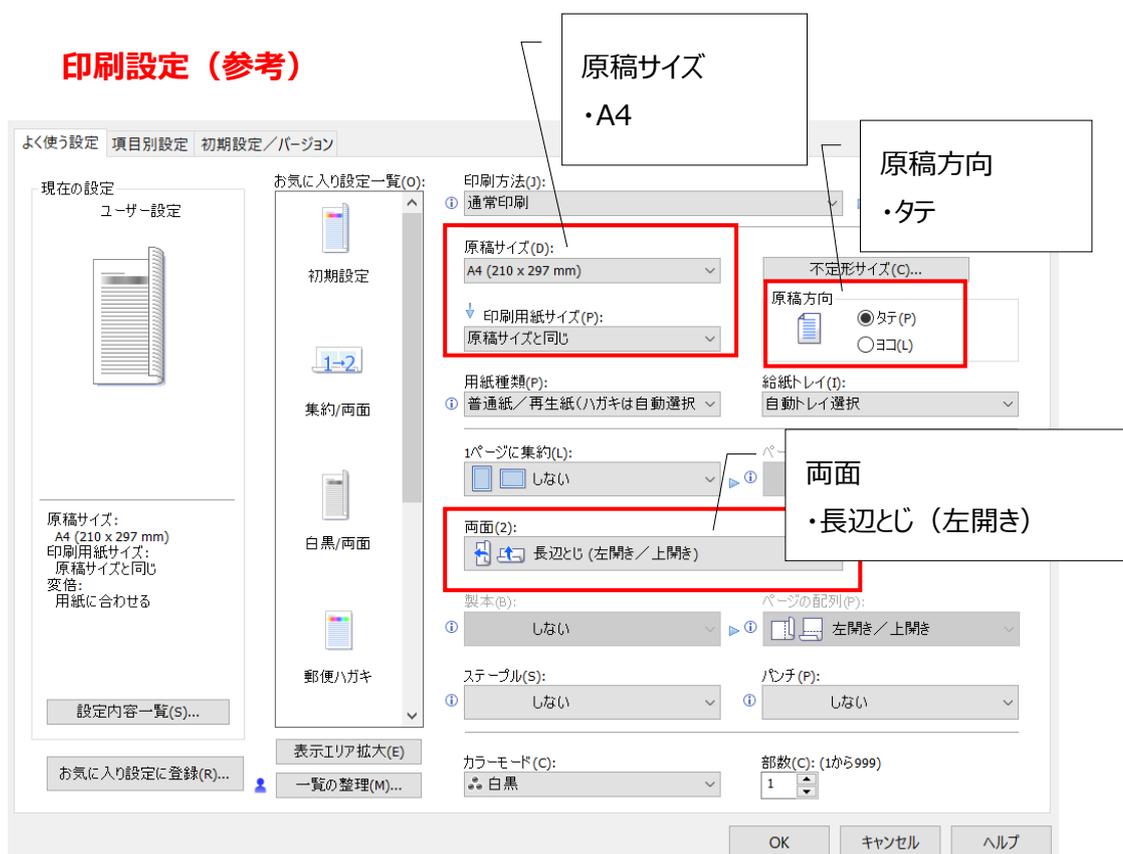
- ・ 「日附印欄」に郵便局の印字が必要となります。
- ・ 但し、ATM 等の利用により「日附印」が無い場合については不要です。

## (7) 誓約書の印刷方法について

① ファイルの種類：誓約書\_2024 年度 BIMCIM 管理技士資格制度試験\_受験時.pdf

② 以下の方法で印刷してください。

- ・ 両面印刷を必須とします。
- ・ 紙が 2 枚に分かれる事は禁止事項であり、再度ご提出いただけます。



## 16. よくある質問 (Q&A) について

### 16-1. よくある質問 (Q&A)

NO	分類	Q	A
1	仮申込	仮申込を行ったが自動返信メールが来ない。	次の①②③をご確認ください。 ①：申請したメールアドレスが正しい事を確認する。 ②：迷惑メールフォルダを含め全てのフォルダを対象に、「bimcim-info@jcitc.or.jp」にて検索する。 ③：「bimcim-info@jcitc.or.jp」について、受信拒否されない設定を行う。
2	仮申込	複数名同時に申請できる？	受付出来ません。受験申請者自らがご自身の情報のみを申請してください。
3	本申込		
4	申請書類	申請書類（受験願書等）はドコから入手するの？	仮申込を行った際のメールアドレス宛に申請書類関連の情報が届きます。その後、ダウンロードのうえ印刷していただきます。
5	氏名	受験前に氏名が変わった。	新氏名、旧氏名の何れで受験を行うかによって、方法が異なります。何れにせよ、全ての申請書類の「氏名の箇所」が合致する事が必須です。詳細は、 <a href="#">15-(2)</a> 。
6	氏名	受験後に氏名が変わった。	①初回登録申請時：登録申請書、及び新氏名を証明する書類の提出いただきます。 ②登録後の氏名変更：登録変更届出書、及び新氏名を証明する書類の提出いただきます。
7	住所	住民票、その他の書類において住所の箇所が違う。	・受験時、登録時共通して、書類不備となります。 ・受験時に現住所宛に郵送するものではありませんが、登録証は住民票に記載の住所以外にお送りできません。
8	支払い	複数名同時に受験料の支払いできる？	複数名同時の支払いは、ご遠慮ください。受験申請者個人ごとの払い込みをお願いします。差し戻しとなります。
9	試験会場	試験会場の空き状況を確認したい。	①2025年4月1日以降であり、当法人から試験会場関連メールが到着後、マイページにログインのうえ確認できます。 ②CBT 運営の受験者専用サイトからのみ確認できます。 ※①②以外の方法はございません。
10	問合せ	何をドコに聞いて良いのか分からない。	・状況ごとの問い合わせ先は、 <a href="#">8-2</a> をご参照ください。 ・問い合わせ先は、 <a href="#">8-1</a> をご参照ください。

## 17. CBTS「受験者ご利用規約」より以下転記（2024年2月1日時点、抜粋）

以下「<https://cvt-s.com/page/attention.html>」から引用

この規約（以下「本規約」という）は、株式会社シー・ビー・ティ・ソリューションズ（以下「当社」という）の提供する試験運営（各種試験申込システムを含む）やその他コンテンツ配信サービスなど（以下「本サービス」という）を利用する方法および条件などについて定めるものです。本サービスの利用を本規約に定める登録手続きを完了された方には、本規約に従って、本サービスをご利用いただけます。

### 第1条【受験者登録や本サービスの利用手続に関する事項】

#### 受験者登録内容の自己管理

1) 受験者が本サービスを便利に利用するために用いる受験者専用ページ（※以下「マイページ」という）で利用するID（以下「ID」という）およびIDごとに設定するパスワードは、受験者自身で責任をもって保管するものとします。

※上記「受験者専用ページ(マイページ)」とは、受験者情報の登録完了に伴い、同サイト内に作成される当該受験者のための専用ページをいう。

パスワードは当社が推奨する基準に則り、第三者に推測されづらい文字列にて設定してください。

受験者自ら、3ヵ月に一度程度はパスワードを変更し、IDが盗用されないように努めてください。

万一、IDが盗用されたことが判明した場合、速やかに当社へ連絡すると共に、自らパスワードを変更するなどの対策を講じてください。

2) 登録している受験者情報に変更があった場合は、ただちに当社の指定する方法で変更の手続きを行ってください。

3) 受験者は、いかなる場合にも、自己のIDおよびパスワードを第三者に譲渡または貸与し、もしくは第三者と共用することはできません。当社は、受験者各人のIDとそのIDに設定されたパスワードの組み合わせによって行われた申込内容などのあらゆる行為は、そのIDを利用する受験者によって行われたものとみなします。

#### その他留意事項

1) 本サービスは、原則として、対象とする各試験の主催者（以下「試験主催者」という）、もしくは対象とする各コンテンツを管理する法人（以下「管理法人」という）が定めるルールに基づき運用します。受験者が本サービスを利用するにあたっては、予め、試験主催者もしくは管理法人が定める試験やコンテンツに関する規約等（以下「主催者規約等」という）に同意しているものとみなします。

2) 受験者登録や本サービスの利用手続などにおいて、第三者によって引き起こされた損害について、当社は一切責任を負いません。

### 第2条【受験申込について】

試験概要を掲載するページをご覧ください。受験に関する一通りの手順をご理解ください。

申し込まれた場合は、本規約及び試験概要を掲載するページに記載された全ての事項に同意されたものとみなします。

一度受験申込をした試験区分の再申込が可能になる日時は、申込済の試験の終了時刻を過ぎたら、再申込が可能です。

※システムでの処理の都合上、申込済の試験の終了時刻を過ぎてから再申込が可能になるまでには数時間～1日程度掛かります。

※期間限定試験で申し込み期間の設定がある場合はこの限りではありません。

受験可能日に空きがない場合、受験（予約）できません。

予約情報（試験、受験日時、会場等）の確定は受験者の意思によるものとみなし、以下のような場合、当社は一切の責任を負いません。

- ① 受験科目の間違い
- ② 試験日時の間違い
- ③ 試験時間が重複する複数の申込（ダブルブッキング）
- ④ その他、予約情報の間違い

#### 第 4 条【利用推奨環境に関する事項】

当社の Web サイトをご利用の際は、以下の動作環境を推奨します。

推奨環境以外では、ご利用できないもしくは正しく表示されない場合があります。

推奨環境は動作を保証するものではありません。ご利用の端末環境や通信環境、他ソフトウェアなどの影響により正常に動作しない場合があります。

推奨環境一覧		
OS	バージョン	ブラウザ
Windows	10, 11	Google Chrome 最新版, Microsoft edge 最新版
Mac	12	Google Chrome 最新版
Android	9.x ~ 12.x	Google Chrome 最新版
iOS	iOS 14, 15	Safari 最新版
その他	非推奨	
JavaScript	有効	
Cookie	有効	

IBT 受験、動画視聴、各種テキストダウンロードなどご利用される場合は、上記とは異なる推奨環境、あるいは追加項目が要求される場合があります。詳細は当社受験サポートサイトに掲載している各試験主催者の試験紹介ページをご参照ください。

#### 第 6 条【受験に関する留意事項】

##### CBT 試験の場合

受験者は、受験に際して遵守すべき以下の a～q の留意事項に関する同意書に署名する必要があります。なお、受験者がこの同意書に署名しない場合、当日予定している試験を受けることが出来ません。

- a. 試験会場の受付にて、予め指示された書類を提示して受験を予定している本人であることの確認を受けます。
- b. 受験者以外、試験室への入室はできません。また、試験会場には同伴者の待機場所はありません。
- c. 【2025 年 3 月 31 日までに実施の試験】

試験開始時刻の 5 分前までに試験会場へ来場されていない場合、理由の如何を問わず受験できません。

ただし、遅刻に関する特別な指定をしている試験についてはこの限りではありません。

試験主催者のホームページ等から受験される試験の遅刻ルールを必ずご確認ください。

##### 【2025 年 4 月 1 日以降に実施の試験】

試験開始時刻から 30 分までは遅刻を認めますが、試験終了時刻の繰り下げは行いません。

30 分を超えて遅れた場合は原則受験できず、欠席となります。

ただし、遅刻に関する特別な指定をしている試験についてはこの限りではありません。

試験主催者のホームページ等から受験される試験の遅刻ルールを必ずご確認ください。

d.上記 a.に記載の本人確認用の書類以外の私物（携帯電話、財布、腕時計、帽子、かばん、その他試験監督官から持ち込みを禁じられた物品）を試験室に持ち込んではいけません。試験監督官に指示された方法で所定の場所に保管する必要があります。

基本的に受付では貴重品のお預かりは致しません。ロッカーに入らない（スーツケース等）荷物の持参はご遠慮ください。

e.試験監督官から渡されたメモ用紙や筆記用具、その他の貸与品を試験開始前には使用できません。

f.試験終了後、メモ用紙や筆記用具、受験ログイン情報の記述された用紙、及びその他の貸与品のすべてをすみやかに返却する必要があります（一部の試験ではメモ用紙や筆記用具等の貸与はありません）。

g.試験室に入室後は、指定されたパソコン（以下「PC」という）で、すみやかに試験を開始します。

h.試験中に、試験官の許可なく、PC の機能を停止することや試験環境を不全にする行為および試験に必要な機能やアプリケーション等以外を活用することは禁じています。

i.試験中は飲食、喫煙、会話、その他の受験者に迷惑となる行為は禁止します。

j.試験中は、試験の公平性や安全の確保のため、試験監督官により目視やその他の方法により監視され、ビデオ録画やその他の方法で記録される場合があります。

k.試験中に受験の妨げになるような事態が発生した場合は、直ちに試験監督官に報告してください。

l.試験監督官に対して、試験内容に関する質問をすることは禁止します。

m.試験室に入室した後、原則として試験が終了するまで退室できません。試験終了前に試験監督官の許可を得ることなく退室した場合には、その時点で試験を棄権したものとみなします。（この場合、受験料は返却されません）ただし、休憩に関する特別な指定をしている試験についてはこの限りではありません。

n.試験問題や解答など試験に関する情報の漏えいは犯罪行為です。受験に用いたメモ用紙等物品の持ち出しによる漏洩に限らず、受験者個人の記憶した内容を第三者に公開することも含め、試験問題に関する情報漏えいを固く禁じます。

o.試験を終えると、試験結果を印刷する操作を行った後、PC の画面上で「閉じる」をクリックし、その後に表示された画面でログアウトをクリックして退室し、受付にて試験終了の手続きを行います。

p.試験中に、受験者の責に帰さない何らかのトラブルが発生して試験を継続できなかった場合、受験者は引き続き該当会場にて継続して受験を再開するか、別日程での再受験を申請することができます。但し、後者の場合、発生する交通費等の費用や費やした時間・労力に対する補償はありません。

q.上述の a～p の留意事項に従わない場合、もしくは試験監督官の個別の指示に従わない場合、当社や試験主催者の判断により、試験結果が無効になったり、資格が剥奪されたり、損害賠償を請求される場合があります。

## 第 7 条【禁止事項】

受験者は、本サービスの利用にあたり、以下①～⑩の行為を禁じます。

- ①法令または公序良俗に違反する行為(受験に不適切な身なりなどを含む)
- ②犯罪行為に関連する行為
- ③本サービスに含まれる著作権や商標権その他知的財産権を侵害する行為
- ④当社のサーバーやネットワークの機能を破壊したり妨害したりする行為
- ⑤本サービスの運営を妨害する行為、またはその恐れのある行為

- ⑥他の受験者の個人情報等を窃取、あるいはこれを試みる行為
- ⑦他の受験者に成りすます行為
- ⑧試験会場における試験の運営を妨害する行為、またはその恐れのある行為(暴力・破壊行為・騒音・クレーム・遅延行為等)
- ⑨他の受験者に対する迷惑行為(暴力・騒音・振動・異臭等)
- ⑩受験におけるカンニング等の不正行為
- ⑪その他、当社が不適切と判断する行為

#### 第 8 条【損害賠償に関する事項】

受験者は、自らの行為により第三者の営業や身体、あるいは施設・設備等の財産などに対して何らかの損害を与えた場合、意図の有無にかかわらず、その損害を賠償する責任を負うものとします。

#### 第 9 条【利用制限および登録抹消】

当社は、受験者が以下の①～⑥のいずれかに該当する場合、事前の通知なく、対象となる受験者に対して、本サービスの全部もしくは一部の利用を制限し、または受験者登録を抹消できるものとします。なお、本条に基づいて実施した措置によって受験者に生じた損害について、当社は一切の責任を負いません。

- ①本規約のいずれかの条項に違反した場合
- ②受験者登録の登録内容に虚偽の事実が判明した場合
- ③受験料等の支払債務の不履行があった場合
- ④受験においてカンニング等の不正行為が発覚した場合
- ⑤当社からの連絡に対し、一定期間返答がない場合
- ⑥その他、当社が本サービスの利用を適当でないと判断した場合

#### 第 10 条【本サービスの提供の停止等】

当社は、以下の①～⑤のいずれかの事由があると判断した場合、受験者に事前に通知することなく、本サービスの全部または一部の提供を停止または中断できるものとします。なお、本サービスの停止または中断により、受験者または第三者が被ったいかなる不利益または損害について、当社は一切の責任を負いません。

- ①本サービスを提供するための設備、通信回線等の保守その他工事を実施する場合
- ②地震や台風、落雷などの自然災害、火災や情報通信インフラ等の障害、内乱・戦争など予期せぬ事案が発生した場合
- ③コンピュータ(サーバー含む)または通信回線等が何らかの事故により停止した場合
- ④感染症の蔓延などにより、安全に試験運営を継続できないと判断した場合
- ⑤その他、適正な試験運営、あるいは受験者ほか関係者の安全を確保することが困難と判断した場合

#### 第 11 条【免責事項】

##### 保証の否認

当社は、本サービスに事実上または法律上の瑕疵(安全性、信頼性、正確性、完全性、有効性、特定の目的への適合性、セキュリティなどに関する欠陥、エラーやバグ、権利侵害などを含む)がないことを保証するものではありません。

##### 免責事項

当社は、本サービスによって受験者に生じたあらゆる損害について一切の責任を負いません。

当社は、本サービスに関して、受験者と他の受験者または第三者との間において生じた取引、連絡または紛争等について一切責任を負いません。

#### 第 12 条 【サービス内容の変更等】

当社は受験者への事前の告知をもって、本サービスの内容を変更、追加または廃止することがあり、受験者はこれを承諾するものとします。

#### 第 13 条 【利用規約の変更等】

当社は、以下①、②の場合には、受験者の個別の同意を要せず、本規約を変更することができるものとします。

①本規約の変更が受験者の一般の利益に適合するとき。

②本規約の変更が本サービスの利用目的に反せず、かつ変更の必要性、変更後の内容の相当性ほか変更に関わる事情に照らして合理的なものと考えられるとき。

#### 第 14 条 【個人情報の取扱い】

当社は、本サービスの運営によって取得する個人情報について、当社「個人情報保護方針」に従い適切に取り扱うものとします。

#### 第 15 条 【通知または連絡】

受験者と当社間の通知または連絡は、当社の定める方法によって行うこととします。当社は受験者が登録している最新の連絡先が有効なものとみなして当該連絡先へ通知または連絡を行い、発信時に受験者へ到達したものとみなします。

本規約は令和 6 年 12 月 24 日に一部改訂されました。

株式会社シー・ビー・ティ・ソリューションズ

国土交通省登録資格（公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格）について

①『BIM/CIM 管理技士』の資格が国土交通省登録資格として登録が認められました。

参 考 資 料： <https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001864445.pdf>

- ・ 施設分野、業務： 全施設／データ管理（BIM/CIM）
- ・ 登 録 日： 2025 年 2 月 14 日（金）

②『BIM/CIM 管理技士』について国土交通省登録資格としての登録を継続する為、今後も厳正に管理運営を行います。  
つきましては、受験方法や登録及び更新方法について変更の場合がある事をご理解いただきます様よろしくお願いたします。

公益財団法人 日本建設情報技術センターのプライバシーポリシー（個人情報利用目的）

- ・ 公益財団法人 日本建設情報技術センター（以下、当法人）は、「個人情報の保護に関する法律」その他の法令及び「個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン」その他のガイドラインを遵守して、個人情報の適正な取扱いを行います。
- ・ 当法人は、受験申込みの際に試験業務の遂行上必要な事項として受験申請者の氏名、生年月日、住所等の個人情報を収集します。尚、これらの情報は、試験の案内送付、試験の申込受付、受験資格の審査、受験料の徴収、受験票を含む受験に必要な書類等の送付、試験会場での出欠確認、試験の採点、試験結果通知、合格者への登録のご案内、当法人からの各種伝達事項の連絡、各種お問合せへの対応、その他資格制度運営に係る事務作業等に限り利用するとともに、C B T 方式による試験事務を当法人が委託している株式会社シー・ビー・ティ・ソリューションズに C B T 方式による試験実施のために必要な範囲内で提供されます。
- ・ 法令に基づく場合等正当な理由がある場合を除き、上記利用目的以外の目的のために保有している個人情報の利用又は第三者への提供はいたしません。

【JCITC】公益財団法人 日本建設情報技術センター 資格制度課

住 所： 〒160-0004 東京都新宿区四谷 1 丁目 4 番地 四谷駅前ビル 3F

U R L： <https://www.jcitc.or.jp>

メー ル： [bimcim-info@jcitc.or.jp](mailto:bimcim-info@jcitc.or.jp)

※ 土曜日・日曜日・祝日は休業日です。